

広島県看護協会広島北支部会員数

保健師	33人(入会率26%)
助産師	33人(入会率45%)
看護師	1,935人(入会率61%)
准看護師	124人(入会率9%)
合計	2,125人(入会率45%)

広島北支部だより

2020.9 vol. **42**

令和2年度 広島北支部総会

〔日時／令和2年4月〕

令和2年度広島県看護協会広島北支部総会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、書面決議開催となりました。広島北支部会員(令和2年4月1日現在 会員数1,901名)のうち書面決議書1,398名、委任状134名の合計1,532名から書面提出がありました。公益社団法人広島県看護協会支部運営規則第20条の1を適用し、令和2年度支部役員及び推薦委員の選出に係る決議事項、令和元年度の活動報告・決算報告ならびに令和2年度の事業計画・予算について、承認されました。会員の皆さまには、お忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。



新年度のご挨拶

平素より、看護協会広島北支部の活動にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、広島北支部の活動が思うように実施できないことにつきまして、心からお詫びいたします。

広島北支部では、現在2回の支部役員会を開催し、今後の支部活動の運営方法などを検討し、変化する状況の中で、広島県看護協会と連携を取りながら安全な取り組みで行うことといたしました。

なかなか先のみえない状況ではありますが、支部のネットワークを大切に、会員の皆様と連携を図り、地域の皆様が安全で安心して暮らせるよう、切れ目のない看護が提供できるよう、活動してまいります。どうぞよろしく願います。



支部長
谷川 裕子
[JA吉田総合病院]

広島北支部 活動報告・案内

広報誌の発行が年1回になったことから、昨年9月以降の活動からご報告いたします!

▶ 社会経済福祉研修会／みんなで考える看護リスクマネジメント

日時／令和元年9月14日(土)
場所／安佐北区総合福祉センター
参加者／62名

講師 広島大学保健管理センター 准教授 日山 亨氏

広島大学保健管理センターの日山准教授をお招きして、①ヒューマンエラーと医療安全、②ストレスコントロールと医療安全、③クレーム患者さんへの対応について、看護場面における実際の事例をもとに、具体的・実践的なリスクマネジメントを学ぶことができました。

単なる知識としてではなくリアルな問題として受け止めることができ、自分達に置き換えて考えるよい機会となりました。資料もとてもわかりやすく、テンポのよい講師のお話で楽しい研修会でした。



参加者の声

- いつ自分の身に起きても不思議ではないので、今回の研修の内容をいつも心に留めておきたいと思った。
- 流れの中で「思い込み」で対応することがあり、危険な場面になりそうなのが幾度もあった。三度の確認、チェック、声出し、指示出し確認を意識して業務にあたりたいと思った。
- 最近クレームが多く、上司がいない時自分が対応しなくてはならず、どのように対応すればよいかわからない事があり、この研修を参考に生かしていきたい。
- 上手にストレスを発散して余裕を持って業務にあたれるようにと改めて思った。

広島北支部 活動報告・案内

▶ 組織強化研修会／ 知っておきたい!災害への備え ～広島市の防災対策・避難情報の入手方法など～

講師 広島市危機管理室災害予防課 課長 河本 秀明氏／広島共立病院 副総看護師長 菅 太佳子氏

広島市危機管理室災害予防課の河本課長からは、①災害はいつでも起こると想定しておく、②防災情報メール、SNS、テレビのデータ放送などから最新の防災情報を入手し、災害への心構えを高める、③避難の必要性を自ら判断し、危険な場所から安全な場所(行政が開設する避難所のほか、近隣の高い建物、親戚や友人宅など安全な場所など)に移動するように話されました。

また、平時から非常用持出品や家庭内備蓄の準備、家族内で避難場所等について話し合い決めておくこと、広島市防災ポータルサイトの活用と防災情報メールを登録してほしいと勧められました。広島共立病院の菅副総看護師長からは、2011年の東日本大震災を受けて、災害に強い病院

づくりに取り組んでいること(大規模災害対策マニュアルの作成・見直し、全体学習会・訓練の開催ほか)、2019年には広島県の災害拠点病院に指定され、同年に実施された大地震を想定した大規模災害訓練の内容について話されました。災害を想定した訓練を行うことで初めて見えてくる課題もあること、大規模災害時には通常の通信手順は使用不能となることから平時からの訓練と連携が重要であるとのことでした。職員への学習を継続的に行うことが求められており、また、訓練により職員の災害に対する意識が高まってきていると話されました。平時からの備えが大切であると再確認した研修会でした。



- 参加者の声
- 避難場所は、市が開設する場所に固執していたと実感した。友人宅でもいいんだと目から鱗だった。
 - 家庭等での身近な防災教育も大切だと思った。
 - 防災ポータルやEMISにアクセスしてみようと思う。

- 広島共立病院の災害への取り組み、訓練を聞いて、当院での取り組みにおいて参考や励みになった。
- 当院では、火災訓練はできているが、施設単位での災害訓練は不十分であると感じた。

日時／令和元年12月7日(土)
場所／安佐北区総合福祉センター
参加者／29名

▶ 会員交流会／ ～花との語らい～フラワーアレンジメント

講師 ヨーロピアンフラワーデザイン連盟・日本切花協会 花ソムリエ 釘屋 洋子氏

集まった仲間と、花を生けながら、語りあい、落ち着いた雰囲気でご過ごしました。釘屋先生、青木先生にグルーピングについてご指導いただき、同じ材料とは思えないほど個性豊かな作品に仕上がりました。仕上がった作品を互いに褒めあいながら、リラックスしたひと時を過ごすことが出来ました。

本事業は、年々参加者が増え、花と語り合うだけではなく、広島北支部のそれぞれの施設の情報交換や、参加の皆様と楽しく交流をはかる場となっています。今年も開催予定としていますので会員の皆様には奮ってご参加いただき、広島北支部の交流の輪を広げていきましょう。



▶ 看護研究発表会

講師 安田女子大学 看護学部 教授 坪井 敬子氏

日時／令和2年1月25日(土)
場所／安佐北区総合福祉センター
参加者／54名

6月から研究サポートを受けていた1施設からの発表(1題)と一般演題(2題)による研究発表会を開きました。活発な質疑応答の後にはサポートしていただいた講師の坪井教授から講評をいただきました。講評では具体的な助言があり、発表者だけでなく、今後研究に取り組む上で参考になるものでした。



演題

- 1) A病院の透析看護師の患者・家族指導の現状と今後の課題 [JA吉田総合病院]
- 2) 回復期リハビリテーション病棟における脳卒中患者の在院日数に影響を与える要因 [広島市立リハビリテーション病院]
- 3) 集中治療室への配置転換者の職務適応を支援する看護師の体験 [広島市立安佐市民病院]



▶ 支部研修会／看護フォーラム～地域包括ケアシステムについて～

研究発表終了後、地域包括ケアシステム構築が進む中、各種介護施設の機能や役割を理解する目的で、「看護フォーラム～地域包括ケアシステム～」を開催しました。

シンポジスト

- ▶ ウェルフェア株式会社 みのりグループホーム川内 施設長 植氏
- ▶ 小規模多機能型居宅介護 げんき高陽 管理者 小池氏
- ▶ 富士メディカル株式会社 サービス付き高齢者住宅メリディーズ 管理者 吉原氏



各施設の紹介とその役割についてお話しいただいた後、意見交換を行いました。シンポジウム形式で各施設の特徴やサービスを知ることができ、退院後の患者や家族の生活の様子がより具体的にイメージできるような内容でした。また、施設側から必要な看護情報は何かを直接聞くことができました。今後の多職種連携に生かせる研修会となりました。



参加者の声

- それぞれの施設の詳細がわかり、退院支援・退院調整をするうえでとても参考になることが多かった。
- 他施設、病院、事業所のメリット、デメリットを含めたお話が聞けて参考になった。
- 全体を通じて、多職種連携の充実の必要性が良く伝わり、現場でも円滑にしていきたいと思った。
- 医療と介護は協力しながら高齢者を支援していくことが重要だと感じた。利用する方に応じてQOLを充実できる施設選びが大切だと思う。

ご案内 看護研究サポート

今年も始まりました!看護研究サポート!今年度は1施設が受講しています。第1回目、テーマ「看護研究の進め方・計画書の書き方」を7月2日に受講し、9月、12月にサポートを受け、令和3年1月23日の研究発表会に向けて頑張っています。

[受講施設] JA吉田総合病院 [講師] 安田女子大学 看護学部 今井 多樹子 准教授

募集しています!

看護研究発表会において、一般演題として研究発表をして頂ける施設を募集しています。日頃の業務の中で関心を持っている事柄に向き合い、改善策を考えてみませんか? 関心のある方、まずは施設代表者の方へご相談ください。



令和2年度 新役員紹介

支 部 長	谷川 裕子	JA吉田総合病院
副支部長	小倉 桂子	広島市立リハビリテーション病院
副支部長	田村 幸美	メディカルパーク野村病院
幹事(総務)	秋広 直子	JA吉田総合病院
幹事(財務)	池田 美江	長久堂野村病院
幹事(社経)	佐々木登美代(新)	訪問看護ステーションなずな
幹事(教育)	野村 弘美(新)	広島市立安佐市民病院
幹事(教育)	南谷加菜子(新)	メリィホスピタル
幹事(教育)	米谷 みわ	大町土谷クリニック
幹事(広報)	北淵 明美(新)	安佐北保健センター
理 事	斎原 隆文	安芸太田病院

よろしくお願いします!



退任された方々 ありがとうございます

幹事(社経) 松井 善子 / 広島県看護協会 訪問看護事業局
 幹事(教育) 岩佐 由美 / 広島市立安佐市民病院

幹事(教育) 森保 寛紀 / 日比野病院
 幹事(広報) 細田 民子 / 安佐南保健センター



お知らせ

新型コロナウイルス
 感染症拡大防止の
 ため中止しました。

- 会員交流会：サックス演奏会 / 令和2年4月18日
- 高校生看護進路相談会(看護の心 普及事業) / 令和2年5月30日
- 支部研修会：救急蘇生(初級コース)研修会 / 令和2年6月20日・6月27日
- 支部研修会：テーマ「みんなで考える看護リスクマネジメント Part2」 / 令和2年9月12日
- 組織強化研修会：「在宅看取りについて」 / 令和2年11月



今後の行事予定

※詳しくは後日お送りする案内をご覧ください。新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため、今後の予定が変更となる場合があります。

- 会員交流会「フラワーセラピー」 / 令和2年12月12日(土)
- 看護研究発表会 / 令和3年1月23日(土)
- 看護研究発表会後、「看護研究についての講義」

[発行日] 令和2年9月30日発行

[発行所] 公益社団法人広島県看護協会 広島北支部事務所
 〒731-0223 広島市安佐北区可部南5-14-20-205
 TEL/FAX:082-814-4543
 E-mail: s-kita@nurse-hiroshima.or.jp

[発行責任者] 谷川 裕子

